

プレスリリース

日本 ものづくり ワールド 2011

第22回 設計・製造ソリューション展

第15回 機械要素技術展

第19回 3D&バーチャル リアリティ展

第2回 メディカル テクノロジー EXPO

～医療機器 開発・製造技術展～

会 期:2011年6月22日(水)～24日(金)

会 場:東京ビッグサイト

主 催:リード エグジビション ジャパン株式会社

＜ 世界最大級のモノづくり専門展！ 1,700社*が出展 ＞

来る2011年6月22日(水)～24日(金)までの3日間、世界最大級のモノづくり専門展「日本 ものづくり ワールド」が、東京ビッグサイトにて開催される。(主催:リード エグジビション ジャパン株式会社)

同展示会は、モノづくりの最先端技術やバーチャルリアリティ製品が一堂に集まる日本最大の展示会として、業界関係者にとっては欠かせない場として定着している。例年多数の専門家・ユーザーが来場しており、来場者登録数は88,000名を見込んでいる。

また本年は、昨年、機械要素技術展内に新規開催された『医療機器 開発・製造技術 EXPO』が、『メディカル テクノロジー EXPO ～医療機器 開発・製造技術展～』として、規模を拡大して開催することが決定しており、大きな注目を集めている。詳細は次頁以降を参照。

なお、展示会招待券(無料)の申込みは、展示会ホームページ(<http://www.dms-tokyo.jp/mfg/>)、または、FAX(03-3349-8500)にて受付けているとのこと。

* 同時開催展を含む。出展社数は最終的な見込み数です。

※会場写真は、本展ホームページよりダウンロードできます。↓

<http://www.dms-tokyo.jp/mfg/>



(問合せ先)リード エグジビション ジャパン(株) 広報担当:田口 由実子 E-Mail:taguchi@reedexpo.co.jp
〒163-0570 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 18F TEL:03-3349-8506 FAX:03-3349-8500

第22回 設計・製造ソリューション展 (DMS)

製造業向けITソリューションが一堂に出展する日本最大の専門展。日常業務の課題解決に最適な製品・技術を効率的に導入・比較検討する場として、製造業の設計・開発部門、製造・生産部門、経営企画・情報システム部門などをはじめとする多数のユーザー・専門家にとって欠かせない展示会だ。

① 新企画！『事前アポイントシステム』

展示会をより効率的に活用するための特別企画として、『事前アポイントシステム』を始める。『事前アポイントシステム』とは、展示会に来場する前にお探しの製品や抱えている課題を登録すると、条件に合った出展企業から提案メールが届き、事前に打ち合わせをすることで、会期当日に効率よくブースを回ることが出来るシステム。例年、会場では多数の出展社が「商談コーナー」や「コンサルティングコーナー」を設置し、導入事例や導入メリットを説明できる専門の技術者を常駐させている。来場者にとっては、この『事前アポイントシステム』を利用することで、「あらかじめ行くべきブースがわかり、広い会場を効率よく回れる」「事前に課題を伝えているため、課題に合った具体的な提案が受けられる」「システムが自動的に絞り込むため、自分で調べる手間が省ける」といった利点があるので、ぜひ活用したい。登録は無料で行える。

登録・詳細は、こちらから ⇒ <http://www.apposys.jp/dms/>

② 製品カテゴリーごとに、11の特設ゾーンを設置

展示会場内には、製品カテゴリーごとに下記の11の特設ゾーンが設置されている。設計・開発から製造、生産管理のほか、人材育成・技術伝承、知的財産、環境・省エネ対策など、モノづくりに関するあらゆる課題解決に役立つソリューションが集まっている。

- CAD & PLM/PDM ゾーン
- CAM ゾーン
- CAE ゾーン
- 図面管理・文書管理ゾーン
- 3次元測定ゾーン
- ラピッドプロトタイピング・3Dプリンタ ゾーン
- SCM・ERP・生産管理システム ゾーン
- 技術伝承・技術者教育ゾーン
- 設計・製造アウトソーシング ゾーン
- 知的財産・技術戦略支援ゾーン
- [工場・事業所向け] 省エネ・CO2削減ゾーン

③ 設計・製造ソリューション展 専門セミナーを併催

開発期間短縮、コスト削減、環境技術等の課題解決に役立つ全13セッション！

併催の専門セミナーでは、今年も製造業に関する様々なテーマを体系的・効率的に学べる絶好の場となっている。毎年多くのユーザーが受講する基調講演では、三菱自動車工業(株) 常務執行役員 EV ビジネス本部長 中村 義和氏が、同社の電気自動車「i-MiEV」が開く『新しい、人と街と自動車の関係』について講演する。また特別講演では、トヨタ自動車(株) 第2技術開発本部 HV システム開発統括部長 安部 静生氏が登壇する。いずれも環境対応車の技術開発と、普及への取組みがわかる必聴の講演だ。

そのほか、シャープ・日産・パナソニック・リコーなど、製造業を代表する企業のモノづくり事例が多数紹介される。設計・開発の効率化や開発期間短縮を実現するIT活用をはじめ、コスト削減、製造現場の改善、知的財産・技術戦略の取組み、モノづくり人材育成の事例まで、製造業の抱える様々な課題解決に役立つ内容を学べる。(詳細プログラムは、4月中旬以降に展示会ホームページにて公開予定。)

第15回 機械要素技術展 (M-Tech)

機械要素、加工技術を一堂に集めた本業界日本最大の専門展。製品の研究開発のために最適な機械要素・加工技術を効率的に導入・比較検討できる場として、欠かせない展示会だ。

① 新たに『企業・工場誘致フェア』を加え、16の専門フェアを特設

【新設】企業・工場誘致フェア ……企業や工場を誘致したい国、官公庁、地方自治体、開発局、貿易投資局、工業団地、機構、財団などが出展。

- モーション技術フェア
- モーターフェア
- 油空圧機器フェア
- 機構部品・関連製品フェア
- ねじ・締結技術フェア
- ばねフェア
- 機械材料・加工技術フェア
- 微細・超精密加工フェア
- 大物・厚物加工フェア
- バリ取り・表面仕上げフェア
- 表面処理・改質フェア
- 洗浄フェア
- 試験・計測機器／センサフェア
- 部品供給・検査フェア
- 工具フェア

いずれも製造業の設計者、開発者、研究者、生産技術者、製造担当者、購買・調達担当者、品質管理者、保全・メンテナンス担当者、経営者にとって、必見のフェアだ。

同展の最大の特徴は、出展ブースに常駐する専門の技術者と来場者の間で、開発・設計・試作のための詳しい技術相談がその場で活発に行われていることだ。そのため「コストダウンを図りたい」「小型・軽量化を実現したい」「品質向上を図りたい」等、日頃から抱えている課題の解決を求める来場者で溢れている。会場の随所では実際に出展製品を手にとって、製品の機能や技術の特徴を比較検討し、最適な機械要素・加工技術の導入に向けて技術相談や試作依頼が行われている。例年、同展をきっかけに、様々な特注品が誕生しており、技術力のある企業と来場者との絶好のビジネスの場となっている。



② バリ取り・表面仕上げ フェア 専門セミナーを併催

「バリ取り・表面仕上げ フェア」と併催して開催される専門セミナーでは、日本の産業技術力を発展させる鍵として注目が集まるバリ取り技術について、体系的に学ぶ絶好のチャンスである。セミナーでは、バリ取り・表面仕上げの基礎から応用事例まで理解することができる内容となっている。バリ取り技術に悩む人々はもちろん、製造・生産技術、設計・開発部門の人々にとっても、品質向上や新しい発想を入手するチャンスとして、必聴の講演だ。詳しいセッションの内容については、ホームページにて随時更新されるのでこまめにチェックしたい。(www.mtech-tokyo.jp/seminar/)

第2回 メディカル テクノロジー EXPO ～医療機器 開発・製造技術展～

① 昨年比 2倍の規模で開催！

昨年、機械要素技術展内に新規開催された『医療機器 開発・製造技術 EXPO』が、今年は『メディカル テクノロジー EXPO ～医療機器 開発・製造技術展～』として開催される。本展は、医療機器を開発、製造するための技術が集まる専門展。医療分野は今後大きな成長が期待され、特に高い技術力を持つ日本にとって、医療機器は最も有望な成長産業と言える。本年1月には、内閣官房に「医療イノベーション推進室」が設置され、政府の新成長戦略の一環に医療機器が入っている。このような医療機器産業への注目が高まっている背景を受け、本展の出展社数は昨年の2倍の規模で開催する。

医療機器メーカーの設計者、開発者をはじめ、解析担当者、試作担当者、研究者、生産技術者、製造担当者、購買担当者、品質管理者、物流部門、情報システム部門、経営企画部門をはじめとする多数のユーザー・専門家にとっては、高度な技術を持つ企業と直接商談ができる場として、必見の展示会だ。



② 『電子部品ゾーン』を新設！

新たに特設された「電子部品ゾーン」には、電子部品、コネクタ・ケーブル、電源・電池、センサ、プリント基板、半導体、EMC&ノイズ対策、熱対策技術、組込み技術、画像処理技術、電子機器OEM などが出展する。

そのほか、同展には下記のような製品・技術が一堂に出展する。

- | | | |
|----------------|-------------------|---------------|
| ・加工技術／装置部品 | ・FA／ロボット技術／駆動システム | ・OEM／アウトソーシング |
| ・計測機器／試験機器／センサ | ・成形機／工作機械／工具 | ・ITソリューション |
| ・バリ取り／洗浄技術 | ・包装機械／包装資材／クリーン製品 | |

③ メディカル テクノロジー EXPO 専門セミナーを併催

併催の専門セミナーでは、医療機器に関する最新動向と参入への取組みが学べる。初日に開催する特別講演では、内閣官房 医療イノベーション推進室 企画官 八山 幸司氏と、経済産業省 商務情報政策局 医療・福祉機器産業室 室長 竹上 嗣郎氏が登壇し、『日本の医療機器産業の今後の展開』について語る。

二日目の基調講演では、医工連携の第一人者である、国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター長 妙中 義之氏が、『医療機器開発・製品化の今後の展望』について講演する。そのほか、医療機器ビジネスのリスクマネジメント・薬事法などの最新動向や、医療機器分野に新規参入した企業の事例がわかる必聴のセミナーだ。（詳細は、4月中旬以降に展示会ホームページにて公開予定。）

第19回 3D&バーチャル リアリティ展 (IVR)

3D・バーチャル リアリティ業界 日本最大の専門技術展。最先端の 3D 技術や超高精細の映像技術が一堂に出展し、その場で体験や導入・比較検討ができる場として、必見の展示会だ。毎年、製造業、アミューズメント業をはじめ、放送局や映像制作会社、コンテンツ制作会社、通信事業者、官公庁、大学・研究機関など幅広い分野のユーザー・専門家が多数来場し、出展企業と活発な商談を行っている。

① 最先端技術・製品の導入や比較検討ができる！

会場では多数の出展社が「製品体験コーナー」を設けているので、直接製品に触れて実際の動作や操作性を体験できる。また、「商談コーナー」を設置し、導入事例や導入メリットを説明できる専門の技術者を常駐させている。そのため、あらゆる分野の導入事例や導入メリット、仕様、見積りなどをもとに導入に向けての具体的な相談をじっくり行うことができる。各産業分野の様々な課題に対して、専門の技術者に最適な製品・技術を提案してもらえらる場として、非常に有効である。



また、展示会場内には、製品カテゴリーごとに下記の特設フェアが設置されている。

- 次世代映像・放送技術フェア ● 3D 地図・GIS フェア ● 3D ディスプレイ フェア
- 3D CG フェア ● 3次元デジタイザ フェア

② 3D&バーチャル リアリティ展 専門セミナーを併催

3DやVRの最新技術動向や事例がわかる全10セッション！

併催の専門セミナーは、様々な分野で導入が進む 3D や VR 技術の最新動向や活用例を学べる機会として、欠かせない場となっている。初日に行われる基調講演では、パナソニック(株) 高臨場感 AV 開発センター 所長 宮井 宏氏による『パナソニックの 3D の取組みと今後の展望』、東京大学大学院 教授 廣瀬 通孝氏による『新しい社会システムと VR』、慶応義塾大学大学院 教授 館 暉氏による『トレイグジスタンスの最近の展開』と 3 名による講演が聞ける充実の内容だ。また、特別講演は、東京大学 准教授 苗村 健氏による『よくわかる 3D&バーチャル リアリティ入門』。

そのほか、キヤノン・トヨタなど、製造業における 3D・VR 技術の活用事例のほか、裸眼 3D ディスプレイの最新動向、建築業界での VR 活用事例、今注目が集まる AR 技術の活用事例など、幅広い分野での 3D・VR 活用を紹介。いずれも今すぐ業務に役立つ講演であり、既に 3D・VR 技術を導入している人はもちろん、導入を検討している人々にとっても、見逃せないセミナーである。(詳細プログラムは、4 月中旬以降に展示会ホームページにて公開予定。)